

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(1) 業績

当中間会計期間（自平成17年3月1日 至平成17年8月31日）におけるわが国の経済は、企業収益の改善や設備投資の増加から回復傾向ではありますが、雇用情勢については依然厳しさが残っており、原油価格の高騰や年金問題の先行き不安から、個人消費についても未だ不透明感が拭いきれない状況でございます。

そのような中、外食業界におきましては、活発な新規出店に伴う店舗数の増加及びコンビニエンスストア等の中食産業市場の拡大により、競合は益々激しくなっております。

その中で、当中間会計期間において、壬生店（栃木県）をはじめ、群馬県に2店舗、福島県に2店舗、岩手県に1店舗、計6店舗の新規出店を実施し、同エリアにおける店舗ドミナントの強化を図りました。

また、まるまつ「栃木店」（栃木県）を閉店し、当中間期末における店舗数は96店舗となりました。

第1四半期（3月～5月）におきましては、前期末の2月における集中出店の影響を受け、店舗オペレーションの混乱等により『まるまつ』の既存店の売上が前年を大幅に下回る（第1四半期累計対前期比較92.5%）結果となりました。しかしながら、これらに対してエリアマネージャー制度の導入、内部監査の強化を図り機会損失の削減と提供時間の改善に努めた結果、第2四半期より既存店の売上が回復しはじめ、『まるまつ』の既存店の売上について、6月対前期比較92.4%、7月対前期比較97.1%、8月対前期比較98.6%と推移しております。

この結果、前期及び当中間期の新規出店店舗の寄与により、売上高は、4,441百万円と前年同期比708百万円の増収（同19.0%増）となりましたが、第1四半期における既存店の売上の落込み影響が販売費及び一般管理費の固定費部分の回収を十分に行えず、営業利益は、293百万円と前年同期比13百万円の減収（同4.5%減）となり、経常利益は、302百万円と前年同期比16百万円の減収（同5.0%減）となりました。

また、退職金制度廃止に伴う退職金の支払、栃木店の退店等による固定資産除却損等の特別損失の計上31百万円により、中間純利益は前年同期比42百万円の減収（同23.3%減）となる139百万円を計上いたしました。

(2) キャッシュ・フロー

当中間会計期末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前事業年度末より642百万円減少し、当中間会計期間末の残高は865百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において営業活動の結果得られた資金は281百万円となりました。これは主に税引前中間純利益270百万円を獲得したこと、減価償却費として149百万円を計上したこと、法人税等の支払額97百万円があったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は774百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出621百万円、貸付による支出128百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において財務活動の結果使用した資金は149百万円となりました。これは主に長期借入金の借入による収入300百万円、長期借入金の返済による支出284百万円、割賦未払金の支払による支出62百万円によるものです。

2 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当中間会計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
スープ類 小計	79,828	91.9
(内訳) もりつゆ	24,101	80.9
かけつゆ	19,514	114.4
ラーメンスープ	6,088	113.2
その他のスープ	30,123	87.0
肉類	73,923	738.6
野菜類	57,868	110.8
米飯・麺類	55,460	188.1
魚介類	29,933	71.4
卵水	9,065	99.0
その他	74,976	137.8
合計	381,057	134.1

(注) 1 金額は製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当中間会計期間の仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

A 原料仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
肉類	75,926	352.2
青果物類	47,967	149.8
調味料	38,646	97.5
水産品	33,052	52.9
節類(かつお節等)	20,537	110.8
液卵	6,892	127.4
製粉	6,688	190.4
その他	74,456	262.0
合計	304,167	143.7

(注) 1 金額は仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

B 商品仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
水産加工品	302,684	95.7
飲料	216,193	123.3
米穀・麺類	155,321	108.6
畜産加工品	152,011	138.1
青果物	54,624	82.6
農産加工品	52,618	91.1
その他	156,437	129.4
合計	1,089,892	110.2

(注) 1 金額は仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は店舗の販売予測に基づき見込み生産を行っておりますので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当中間会計期間の販売実績を業態別に示すと、次のとおりであります。

A 業態別販売実績

業態別	金額(千円)	前年同期比(%)
和風ファミリーレストラン	3,685,378	127.6
日本そば店	198,906	103.6
回転すし	154,128	83.3
かに料理店	146,445	71.6
とんかつ店	139,930	103.1
和風居酒屋	81,308	86.5
その他	35,071	102.7
合計	4,441,169	119.0

(注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

B 県別販売実績

地域県別		金額(千円)	前年同期比(%)
東北地方	宮城県(注1)	2,317,486	97.8
	青森県	101,014	243.7
	岩手県	283,503	139.7
	秋田県	118,642	—
	山形県	215,341	160.0
	福島県	516,175	199.4
小計		3,552,164	118.2
関東地方	栃木県	617,820	107.2
	茨城県	203,026	135.2
	群馬県	32,487	—
	埼玉県	35,669	—
小計		889,004	122.3
合計		4,441,169	119.0

(注) 1 本社分につきましては、僅少であることや地域を特定することが困難であるため、宮城県に含めて記載しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 【対処すべき課題】

当中間会計期間において当社が対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

4 【経営上の重要な契約等】

当中間会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

5 【研究開発活動】

該当事項はありません。